読者のページ
郵便くしまにあ

このページは読者の皆さんからの声にふれあう場です。
いろいろな声をお寄せください。

ハザードマップへの疑問です

●中村晃一さん

5月号の津波・高潮ハザードマップを見て驚いた。東北の想定外の大津波の猛威をテレビで全国民の脳裏にインプットされてしまったから納得がいかない。

われわれの茶飲み話でも真剣に避難場所が話されている。沿岸部はいざ知らず、われわれの塩屋原地区では1.0m以下の浸水区域になっており、慌てて避難する必要などがない。3・53mを想定したとありますが、一体どこからきた基準でしょうか。

場合によっては想定外の津波が発生するかもしれません、とわざわざ書いてある。われわれはその想定外の基準に基づいたハザードマップこそ見たいのです。

このハザードマップはどのような意図により、どのような位置付けでわざわざ作成されたのか、明確に教えてください。

中村晃一さんからのお便りに、総務課危機管理係からのお返事です。

5月号に掲載した津波、高潮ハザードマップについてですが、これは、国の中央防災会議が示した数値を元に、宮崎県がシミュレーションを行い、その結果、求められた数値を根拠に作成されたものです。県内の海岸に面している自治体も同様に県が示した数値を根拠としています。

今回の東日本大震災を受けて、県が新たな津波浸水予想図を作成する予定になっています。日向灘地震については県単独でシミュレーションができることから今年度の12月より開始します。巨大地震である東南海、南海地震（こちらの方が津波の高さが高い）については中央防災会議が来年度、数値を示すことになっておりますので、市としては国や県との整合性から、新たなハザードマップ作りは平成24年度以降を予定しています。

市役所の対応に感謝しています

●矢野公子さん

先日は水の事に関しまして市の方がわざわざおいでいただきました。そして本日はプレゼントの「食事券」まで頂きまして恐縮致しております。ありがとうございます。水の事は相変わらず出てくれることに感謝しながらも不安な種の一つです。

岬は堅い岩盤なので井戸を掘るということも大変難しいのではないかと思われます。どなたかと協同でと申されましても、お隣の方はほとんど住んでおられないようです。また何かありましたらご相談させていただくということで、こちらも何か対策を考えなければと思っております。

市の対応には感謝致しております。これからもどうぞよろしくお願い致します。本日はお礼のみで失礼致します。

矢野公子さん、お便りありがとうございます。

水は生活の基礎となるもの。その水を得ることができるかどうかは、やはり大変不安な面も多いかと思います。今回、市民生活課が直接ご説明に伺いました。そのことが今回の矢野さんの感謝のお言葉につながったのだと思います。解決にはまだまだ時間がかかる難しい問題ですが、市役所も解決のため取り組んでまいります。またぜひご意見をお寄せください。

串間と飫肥の文化の違いの意味

●林康博さん

串間駅前でカラオケ喫茶「昭和の歌」を立ち上げて約2年が過ぎようとしています。カラオケ喫茶のなかったこの土地でようやくきどうに乗ったのはオープンして約1年目くらいからですネ!!

この春、2号店を日南市の飫肥駅前に出店しました。この飫肥店をオープンするにあたって友人から、こんなところに店を出してもだれもお客は来ないよ、やめとけという意見も少なくありませんでした。

しかしわたしには、絶対にゆるぎない強い信念がありました。それはこの土地には昼からでもカラオケを楽しむという文化が根付いているし、しかも人口も串間の約3倍多いので、絶対にお客さまは来てくれるという強い確信をもってオープンしました。やはりそれは間違っていませんでした。初日から、オープン時間を待ちきれないくらい多くのお客さまが開店時間前からお見えになります。

串間市は約2万人、かたや日南市は約6万人を相手に展開しているものですから、当然と言っては何ですが、お客さまの数も串間市の約3倍違いますね。これも実際お店をオープンして証明されたようなものですね。それとお昼に純粋にカラオケを楽しむという文化がまだ日南の方に比べると劣りますね。こんなところは考えさせられますね。

やはり、串間市をもう一度活性化するには、一にも二にも人を増やす、外から定住されるように魅力ある串間にする必要が迫られますね。特に人口減少は2、30年前から予想されていたと思うのですが、何の政策もなしにここまで来たのではないのですか。今となっては手遅れの感もありますが、本当に行政は何を考えているのですかね?

林康博さん、お便りありがとうございます。カラオケは日本生まれの文化ですので、やはりカラオケ好きの方は多いのでしょうね。

串間にはなかなかお昼にカラオケを歌う場所が少ないので、カラオケ喫茶はとてもありがたい存在だと思います。

人口の減少は串間市の大きな問題の一つであり、その対策のため努力を続けていますが、苦慮している状況です。しかし、移住された方を中心に結成された新くしま人応援隊の活動などを通じて、移住者が少しずつではありますが、増えてきています。串間市の活性化のため、これからもぜひご意見をお寄せください。

心躍る陶器市

●タンポポさん

久しぶりになぜか今日は良い天気になるので、ちょっと暇を見つけて畳の上での陶器市へ出かけてみる。中に入ると、たくさんの窯元よりいろいろな皿がきれいに並んでいた。

あちこち時間をかけて見て回る。

何か記念になるものをと思って、手近なものとして、毎日使う湯飲みと一枚皿を見つけて買う。ふと見ると面白い名前の工房が目につく。「さかさま」工房と書いてあるので、よく見てみるけど何一つ「さかさま」なものは見つかりませんでした。何のことと思うと一人でクスッと笑う!!

でも中ではだれ一人声を出して話す人がいないですもの。皆さん泰然悠々といった状況でした。とても楽しかったですネ。スタッフの皆さんおつかれさんでした。

タンポポさん、いつもお便りありがとうございます。

九州窯元行列in串間も今年で第4回を迎え、串間を代表するイベントの一つとなってきています。当日はわたしも窯元行列に足を運びましたが、市内外から集まった窯元の力作に、思わず時間がたつのも忘れて見とれていました。新燃岳の火山灰を利用した陶器など、それぞれの窯元が工夫を凝らした作品は、見ているだけでも楽しいですね。せっかくの機会なので、わたしも記念に湯飲みを買いました。良いものを身の回りに一つおいておくと、普段の生活の中でお得な気分を味わえる気がします。来年も楽しみですね。

●

「広報くしま」では皆さんからのお便りをお待ちしています。楽しかったこと、悲しかったこと、何でも結構です。自薦・他薦は問いません。総合政策課情報政策係☎内線338までどしどしご連絡ください。

おたより待ってます

◎この広報紙を読んだ感想や今後取り上げてほしい記事、医療講座に関する質問、串間市への思い、あなたの身近な出来事、何でも好きなことを書いてください。

⬇点線に沿って切り取ってください。（官製はがきでも可）

市民憲章

わたくしたちは、

1. 豊かな自然を大切にし、これをいかしましょう。
1. お互いを信じ、心をあわせ、平和で明るいまちをつくりましょう。
1. 健康で働くことに誇りをもち、豊かな住みよいまちをつくりましょう。
1. だれにも親切にし老人をいたわり、こどもに夢と、しあわせをあたえましょう。
1. 教養を高め文化のまちをつくりましょう。

◎市の木／そてつ ◎市の花／かんな
◎市の鳥／めじろ ◎市の花木／山桜
◎人口 20,079人（前月比 −34）
男 9,224人 女 10,855人
世帯数 8,759世帯

（平成23年6月1日現在）